

ヘリコバクターピロリ感染胃癌の臨床病理学的特徴に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

1986年1月～2005年12月に当科において胃癌手術を実施し、術前術後の検体からヘリコバクターピロリの検索が実施可能であり、かつ正確な予後が判明している180例

2. 研究目的・方法

臨床病理学的特徴及び全生存率、疾患特異的生存率などの長期予後を検討する。研究期間は、防衛医科大学校長承認後から令和2年12月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、検査データ 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者： 防衛医科大学校 外科学講座 矢口 義久

連絡先： 〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

TEL： 04-2995-1211（内線 2356）